

法職説明会に参加した学生の感想

5月12日(土)

【1】9:30～10:15

法職に就くために 弁護士

- ご自身の司法修習の体験談などを伺い、1年生の間に何をすべきかを考えることができ良かったです。学生時代の過ごし方を聞いたことによって、自分の学生生活をどうやっていくかを考えさせられました。特に「学生時代に読んだ本は社会人になってからの力量に正比例する」という言葉が強く響きました。
- 今回のお話を聞き、法職に就きたい思いを一層強くしました。「法学部での学びは問題解決能力を高める」という言葉が耳に残っています。先生の明るさと興味を引く話でとても楽しく、自分の今まで知らなかった事を聞くことができ、勉学を中心に様々な事にチャレンジしていきたいと思いました。
- 法律と政治を学ぶことで、問題解決能力を向上させたり、様々なことを判断する際のバランス感覚を身につけたりすることができることと知り、法学部に入学して良かったと思いました。

【2】10:20～11:05

ロースクール(法科大学院)について 法科大学院教員

- ロースクール紹介ビデオで模擬法廷を初めて見て、普段ニュースなどで見る本物の法廷のようで驚きました。司法試験の合格率が3～5%から、今は24%に上がっているのでチャンスは広がっているなど思いました。
- 法科大学院の入試制度や内部の詳しい話が聞けてよかったです。大学での勉強だけではなく積極的に本を読んで世界を広げることが大事だと講師の方がおっしゃっていたので、この機会に新書などにも手を出してみようかなと思いました。目指すは早期卒業です！
- ロースクールの環境や OB、OG が後輩に教えるという縦のつながり等、多くの魅力を感じました。また、人間同士のつながりを大切にしているということにも大変惹かれました。法の支配の担い手として責任をもって法曹の社会に入ることは、大変覚悟のいることだと感じました。

【3】11:10～11:55

弁護士の仕事とその魅力について 弁護士

- 私は弁護士になりたくて法学部に入学しました。しかし大学生活を送るうちに弁護士なんて無理なんじゃないか、司法試験なんか受からないのでは、という気持ちを抱くようになりました。しかし、この講義を通して「弁護士になりたい！」という気持ちを取り戻すことができました。授業を通じて、法律の世界と関わっていきたくて思いました。
- 弁護士を志して入学しましたが、司法試験はやはり簡単ではないことを改めて実感しました。これまで弁護士の仕事は犯罪者の味方をする仕事だと勝手な思い込みをしていましたが、人助けであることには変わらないのだと気づき、さらに魅力を感じました。これからも一生勉強します！

- この講演で僕はますます弁護士になりたいという思いが強くなりました。「自分の存在意義を感じた時」という講師の方の話を聞いて、その瞬間を是非実感してみたいと思いました。自分の決めた道への過程を楽しみつつ、その道へ向かって一生懸命取り組んでいきたいです。

【4】13:00～13:45

司法書士の仕事とその魅力、司法書士試験について 司法書士(2名)

- 司法書士の仕事は、人の役に立つことができ、とてもやりがいのある仕事だと思いました。司法書士といっても様々な働き方があること、女性で司法書士をされている方のお話を聞いたことが良かったです。また、これから成年後見の分野で果たす役割がますます重要になることも分かりました。司法書士試験は、難しい試験だけど頑張って受けたいと思います。
- 実際に司法書士の先生自身が経験されたことを聞いて良かったです。司法書士を目指そうか迷っていましたが、本気で目指してみようと思います。法学部で学んだ知識を生かして、人の役に立てる司法書士になりたいと思います。今回の講演で明確なきっかけができて良かったです。

【5】13:50～14:35

司法修習について 弁護士

- 「司法修習」という言葉自体を初めて聞きました。司法試験に受かってからも、更に勉強しなければならぬことを知って驚きました。各試験に必要な勉強内容や、試験の過酷さなど、弁護士になるのは大変なんだと思い知りました。
- 新司法試験を受けようか迷っていたので参加しました。司法修習の内容は、実務を中心に行い、多方面の経験もできることがわかりました。司法試験に受かったら終わりではなく、さらに実践に向けて準備を怠らないことが重要だと知りました。また修習を通して知り合いが増え、色々な繋がりができるというのは、とても有意義だと思いました。

【6】14:40～15:25

裁判官(判事)の仕事とその魅力について 裁判官

- 裁判官は堅いイメージがありましたが、面白そうな仕事だと思うようになりました。20代の裁判官もいることを聞いて、裁判に一層興味を持ちました。人間、社会を相手にする仕事がしたい私にとって、このような仕事につけたらやりがいを感じるのだろうと思いました。
- 少しでも法曹への視野を広げようと参加しました。例え話を使って裁判官の仕事やプライベートまでお話して下さって、とてもわかりやすかったです。一番驚いたことは、裁判官が自ら発展途上国へ法に関するノウハウを教えに行くということでした。裁判官という仕事が非常に意義ある仕事だということを知ることができました。

【7】15:30～16:15

検察官(検事)の仕事とその魅力について 公証人(元検察官)

- 「検事は人を罰する仕事ではなく、人を許す仕事である。」この言葉が今日の講演で一番心に響きま

した。検事の魅力を話してくださり、何より楽しそうに話される講師の方の姿が、自分を検事という仕事へと惹きつけました。仕事のやりがい、辛いこと、難しいところ、とても興味深かったです。

- 私は検察官志望で法学部に入ったのですが、今回のお話で、いかに事件の捜査や公訴が難しく、また検事の仕事が面白く、やりがいのあるものであるかが分かりました。刑事手続き全てに関与できる「刑事司法の要」と呼ばれる検察官になりたいという思いが強くなりました。僕も真実を求める検察官になれるよう頑張って勉強していきたいです。

5月19日(土)

【8】9:30～10:15

地方公務員の仕事とその魅力について 地方公務員(西宮市総務局)

- 将来の夢が公務員の職に就くことなので、興味をもって話を聞くことが出来ました。市役所では「法律に強い職員」が求められていると聞いて、自分が法学部に進んだのは間違いではなかったと改めて思うことができました。公務員の仕事は「法律による行政の原理」なので、普段の授業をしっかりと聞いて、知識・考え方を身につけたいです。
- 私は、今、公務員になりたいと考えているので、もっと色々調べてみたいと思う機会となりました。法学部にいるからには、法律が強くなって自分にしかない強みを身につけたいと思います。自分の将来に向けてしっかり準備していきたいと思います。

【9】10:20～11:05

企業法務の仕事とその魅力について

パナソニック(株)エコソリューションズ社 法務グループ海外法務チーム

- 私は将来メーカーに就職したいと思っているので、興味深い話で面白かったです。海外法務の仕事に興味を持ち、英語が必要だと分かったので頑張って勉強しようと思いました。今までは、メーカーの企画部などに興味がありましたが、せっかく法学部で学んでいるのだから、法務部も魅力的だと思います。
- 企業の発展のために専門知識を生かして働くことは、とても有意義なものだと学ぶことができました。法律関係の知識のみではなく、将来の職業選択の範囲を広げるためにも、今から努力をしなければならぬと痛感しました。今後の学校生活における課題と目標を見つけることができ、とても有益でした。
- 「どのような企業も本来は人々のため」という言葉が印象的でした。企業法務といっても様々な役割があることに驚きました。法学の範囲内だけでなく国際的な問題を扱う業務もあり、大変興味を持ちました。私は英語が好きなので、法学も英語も生かせるような仕事を将来の進路の選択肢に加えたいと思います。

【10】11:10～11:55

家庭裁判所調査官の仕事とその魅力について 家庭裁判所調査官

- 私は法学だけではなく心理学も学びたいので、両方が生かせるこの職業は自分に最適ではないかと

思いました。単に少年に罰を与えるだけではなく、今後同じようなことを起こさせないようにする仕事というところに興味を持ちました。複雑な人間関係の中で起こる事件を対象とする仕事なので、とてもやりがいがある仕事ではないかと思えます。

○裁判所という組織には様々な職種があるのだなと驚きました。これまで裁判を身近に感じる機会がなかったため、今回のお話で詳しく知ることができました。責任が大いに伴う職業ですが、だからこそやりがいのある仕事ができるのではないかと思えます。また、成績、能力主義であるというところに非常に魅力を感じました。

【11】13:00～13:45

検察事務官の仕事とその魅力について 検察事務官

- 私は検察事務官を目指して法学部に入ったので、実際に働いている方の話が聞けて良かったです。人を裁くことに関わるので、精神的にもとても厳しい部分もあるかと思えますが、自分が関わった事件に貢献できたり解決したりすると、とてもやりがいを感じるのだらうと興味がわきました。
- 検察事務官は、将来の夢の一つでしたので、お話を聞くことができ良かったです。テレビとは異なり、実際はもっと多様な仕事があるということがよく分かりました。他にも勉強、研修や女性に対するサポートも充実していると知って、もっと興味がわきました。これから色々調べて、自分がなりたい職業に就けるよう勉強を頑張っていこうと思いました。
- 一番興味のある分野だったのでとても楽しみにしていました。試験や仕事内容も詳しく聞くことができ、今後の参考になりました。検事に助言をしてそれが採用されることもあると聞いて、自分の助言によって人を助けることができるのは、とてもやりがいのあることだと思いました。

【12】13:50～14:35

警察官の仕事とその魅力・採用試験について 愛知県警察本部

- 私は将来警察官になりたいので、非常に有益で楽しい講義でした。まず、採用試験が県警ごとに別々だということに驚きました。また、検察と同じく警察学校の研修が大変充実している点が素晴らしいと感じました。この講義を参考に将来を考えていきたいです。
- 警察官という職種に興味を持っていたのですが、今回の説明会に参加してより興味を持ちました。仕事内容や自身の体験をととても面白く話してくださり、楽しく学べました。「やりがいがある」この言葉にととても魅力を感じました。一方で多くの苦勞もあると知り、改めて仕事の大変さを理解できました。

【13】14:40～15:25

税理士の仕事とその魅力・採用試験について 税理士

- 税理士は年収がかなり高いイメージがありましたが、必ずしもそうではないということがわかりました。様々なトラブルもジョークを交えて講義してくださり、税理士の仕事が以前より魅力的に思えました。
- 税理士についての面白く楽しい説明でした。税理士の年齢層や年収などは私が考えていたのと少し違ったので驚きました。税理士試験に簿記がいることを初めて知りました。私は秋から簿記3級をとろうと考えていたので頑張ろうと思いました。税理士に魅力を感じたので、詳しく調べてみようと思えます。